

# 12月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

## 行った主な活動

### ■ トップジン（農薬）塗布

剪定した枝の切り口に刷毛を使ってトップジンを塗った。トップジンは殺菌乾燥防止剤で、枝の切り口からの菌の侵入や枯れ込みを防ぐ効果がある。



### ■ シアナミド（農薬）散布

休眠打破剤のシアナミドを噴霧器を使って散布した。芽に散布することで、7～10日程度、発芽が早くなり、収穫の早期化が期待できる。

シアナミドが体内に入ると、二日酔いのような症状が出るため、使用前日の飲酒は控える必要があると知り、農薬を使用する際は説明書をよく読み、十分注意しなければならないと思った。



## 活動を行った感想など

薬剤を使用する際は、作用する原理や、体や環境への副作用などを調べ、より効果的な使い方ができるようにしていく。

冬は、害虫や病原菌を如何に越冬させないかということも重要なポイントになるので、研修先の取り組みに注目していきたい。

日が沈むのが早くなり、作業時間が短くなるので、本や動画で剪定の予習や、夏の栽培管理技術などの勉強をする時間を作る。